

第 20 回水資源機構契約監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成 25 年 2 月 28 日（木） 本社会議室	
委員	田中俊充（弁護士） 矢橋農吾（大学名誉教授） 西谷隆亘（大学名誉教授） 垣花直樹（水資源機構監事）	
審議対象	1．平成 24 年度第 3 四半期における 1 者応札・1 者応募に関する点検について 2．平成 24 年度第 3 四半期における随意契約に関する点検について	
1．平成 24 年度第 3 四半期における 1 者応札・1 者応募に関する点検についての審議	委員	機構事務局
	<ul style="list-style-type: none"> ・ No1「滝ノ沢地区整備工事」の植生基材吹付は、時期が冬場に入ると表面が凍結融解して破壊されるということもあるのだが、時期的な問題は関係ないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発注時期としては契約が 1 1 月後半ということがあるので敬遠されたというところもあろうかと思う。また、専門的な業者の確保が大変だというようなことで、1 者応札となってしまったということではないかということである。
	<ul style="list-style-type: none"> ・全般的なことであるが、不参加者の意見として技術者の配置が困難との意見が非常に多い。これは参加者の事情なのでいかんともしがたいのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術者の配置というのは、現場で施行するときに常駐するという義務があるが、常駐する技術者が他に行ってしまう、人が足らなくなったということである。簡易な工事等においては常駐義務の緩和等を行っているが、コアな部分の工事には常駐することが必要となるので、緩和することは難しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ No53「東庄揚水機場予備発電設備設計業務」と No54「美濃加茂管理所テレメータ回線設計業務」について、1 者応札対応として他には全てある FAX 通知がなく、今後の改善点としてあげられているが、これは FAX 通知を行わなかった特別な事情があったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・機構の 1 者応札対応の中にコンサル業務については FAX 通知というものがなかった。コンサル業者は非常に競争意識が旺盛で、ほとんど 1 者応札がなかった。また、指名競争入札が非常に多く競争性が高まっていた。今は原則一般競争入札ということで、機構考えたほど業者が参加しないことから、工事なみに FAX もやったらどうかということである。 	

第 20 回水資源機構契約監視委員会 審議概要

	<p>・No64「長良川河口堰管内で使用する電気」に関しては、電気ということで電力会社と取引するのかと思ったら、その他の会社との取引になっている。</p>	<p>・従来は電力会社が地域独占で他社が参入できないという電力需給関係であったが、環境配慮をする新しい電気事業者の参入を促進する法律が施行され、特定規模電気事業者も参入できる一般競争入札を行ったものである。電力会社は昨今の電力逼迫で参加を見送り、特定規模事業者としては1者しか参加しなかったということである。</p>
	<p>・今後の改善点で、早期発注を行うというコメントが多く見られる。これをどう具体的に反映させようとしているのか教えていただきたい。</p>	<p>・一般的にどのように対応していくかとなると、特に文書発信等の具体的なものはしていないが、色々な機会で、今回のことを踏まえながら、現場には早期発注を指導していきたい。</p>
	<p>・ただいま出ました意見を今後の1者応札対策の参考にしていきたい。</p>	
<p>2.平成24年度第3四半期における随意契約に関する点検についての審議</p>	<p>・No5「丹生ダム本体他数量算出業務」の落札率が低いですが、この理由は何か。</p>	<p>・ダム本体に絡む概略設計業務であるが、機構に歩掛りがなく、計6社から歩掛り見積を取っている。この見積をもとに予定価格を算定しているが、同じ仕様書で業務発注したところ、結局それよりも更に安い金額で決定されたということである。</p>
	<p>・ただいま出た意見等を今後の随意契約見直しの参考にしていきたい。</p>	

問い合わせ先

埼玉県さいたま市中央区新都心11番地2

ランド・アクシス・タワー内

電話 048-600-6500

水資源機構契約監視委員会事務局

財務部契約課長

相良 秀樹(内線 2251)

技術管理室技術調査課長

益山 高幸(内線 4631)